

通信施設整備事業



PTCハラレ中央交換局

借款概要

承諾額/実行額	5,246百万円/5,246百万円
借款契約調印	1989年10月
借款契約条件	金利3.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1996年12月

事業概要

マシヨナランド州及びマニカランド州において老朽化したステップ・バイ・ステップ方式の電話交換機をデジタル交換機に置換すると共に、首都ハラレ市内の主要局間市内伝送路として光ファイバーを新設し、もって電話需要の充足と電話サービスの向上を図るもの。

評価結果

本事業により、対象地域では電話通信の信頼性が増し、また電話通信網の維持管理が従来方式と比べて容易となった。事業完成後、多くの地域で電話トラフィックは増加傾向にある。本事業により、72,300回線の交換機容量が追加され、電話加入数は、1996年から2000年の5年間で32.4%の増加を示している。しかしながら、本事業完了後にリハビリ及び新設された回線はすぐに満杯となり、引き続き積滞率も増加傾向にあるなど、伸び続ける同国の電話需要への対応を現在でもなお求められている。

維持管理については、技術的には特段の問題はない。しかし、一部の機材の修理が国内で難しいこと、また実施機関であるPTCの財務体質が悪化しつつあるところ、売上拡大と経費圧縮等財務体質の改善努力が求められる。現在PTCは通信部門の民営化にむけて組織改革等を行うなど、新たな体制作りに取り組んでいる。